

令和4年度 芸術科 「工芸Ⅰ」 シラバス

| | | | |
|-----|-------------|----------|----------------|
| 単位数 | 2単位 | 学科・学年・学級 | 普通科 1年A～G組 選択者 |
| 教科書 | 工芸Ⅰ（日本文教出版） | 副教材等 | |

1 学習の到達目標

工芸の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

2 学習の計画

| 学期 | 月 | 単元名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料等 |
|----|---|----------------------|------------------|---|--------------------------------|
| 前期 | 4 | 鑑賞 オリエンテーション | 人間と道具 | ・日常生活で使用している道具についてのスライドを鑑賞し、工芸について理解する。 | ワークシート 学習状況 |
| | 5 | 表現 身近な生活と工芸 染色 | アイデアスケッチ | ・色と形によるイメージ伝達を基に完成や創造力を働かせて感じ取ったことや考えたことから主題を生成する。 ・つなぎ絵となるように考えながらアイデアスケッチやデザインをする。 | ワークシート 学習状況 課題レポート 作品 |
| | | | 型紙制作 | ・渋紙の特性や使用目的を知る ・デザインカッターの取り扱い方について知る。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫し作業をする。 | |
| | | | 糊置き | ・糊の特性や使用目的を知る。 ・ヘラの取り扱い方について知る。 | |
| | 7 | | 藍染 色差し | ・藍の特性を理解し、正しい手順で藍染作業をする。 ・表現方法の特性を生かし、色彩について考え、創造的な表現の構想を練る。 | |
| | | | 完成・鑑賞 | ・作業を振り返り客観的な視点で自分の作品を評価する。今後の制作に役立てる。 ・他の作品から学び、今後の制作に役立てる。 | |
| | 9 | 表現 社会と工芸 籐工芸 | 練習課題 籐かご(小)制作 | ・籐の特性を理解し、制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かしながら制作をする。 | 学習状況 |

| 学期 | 月 | 単元名 | 学習項目 | 学習内容や学習活動 | 評価の材料等 |
|----|----|---------------------------|-------------------|--|--------------------------------|
| 後期 | 10 | | アイデアスケッチ | ・使用する人や場などに求められる機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練る。 | ワークシート 学習状況 課題レポート 作品 |
| | 11 | | 籐かご(大)制作 | ・籐の特性を理解し、制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かしながら作業をする。 ・手順や技法などを吟味し、創造的に制作する。 | |
| | 12 | | 完成・鑑賞 | ・作業を振り返り客観的な視点で自分の作品を評価する。今後の制作に役立てる。 ・他の作品から学び、今後の制作に役立てる。 | |
| | 1 | 表現 身近な生活と工芸 シルバーリング | アイデアスケッチ やすり掛け | ・使用する人に求められる機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練る。 ・やすりや糸鋸の取り扱い方について知る。 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かし表現方法を工夫し制作をする。 | ワークシート 学習状況 課題レポート 作品 |
| | 2 | | 仕上げ 完成・鑑賞 | ・耐水ペーパーや銀磨き剤の取り扱い方について知る。 ・作業を振り返り客観的な視点で自分の作品を評価する。今後の制作に役立てる。 ・他の作品から学び、今後の制作に役立てる。 | |
| | 3 | 鑑賞 日本の工芸 | 民芸運動 | ・民芸運動についてスライドを鑑賞し、民芸運動についての知識を深める。 | ワークシート 学習状況 |

3 評価の観点

| | |
|---------------|---|
| 知識・技能 | ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 |
| 思考・判断・表現 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。 |

4 評価の方法

「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点から総合的に評価します。
(具体的内容：授業の様子、提出作品、デザインシート、感想シートなど)

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

●メッセージ

工芸教育は、伝統と文化を理解しその良さを楽しむ心を育むためのものです。作業を通して先人の培ってきた知恵、技、そして感性を感じとっていただきたい。そしてこれからユニバーサルデザイン、環境を考えた上での素材など色々考えていくため学んでください。

●授業を受けるにあたって守ってほしい事項

提出物は締め切りを厳守してください。

毎回授業で行う作業が異なるため、欠席や公欠の場合は次の授業までに必ず担当者のところまで相談に来てください。